
CLANNAD × Littlebusters **バカな奴らと仲良くする為の21の方法**

RE360

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

CLANNAD×Littlebusters バカな奴らと仲良くする為の21の方法

【Nコード】

N3141Y

【作者名】

RE360

【あらすじ】

思考が周りと少しずれているという理由で小学校、中学校と、ほとんど友人が居なかった少年、水村新は、知り合いの居ない高校デビューで自分よりもっと可笑しくて、楽しい奴等と出会う。

クラナドもリトルバスターズも時系列関係無し、シリアス展開無関係な明るい話を作ろうと思います。

毎週土曜の朝9時に投稿予定です。
変更がある場合は活報でお知らせします。

オリキャラ設定

水村 新（みずむら あらた）

年齢 17歳

髪 黒色 長さは恭介と同じくらい

瞳 緑色

誕生日 10月21日

好きな雑誌 マガ○ン

好きな遊び 缶けり

好きな食べ物 唐揚げ

思考は遊ぶ事か食事の事などが八割を占めている。
理樹よりも恭介に近い思考の持ち主。

剣道をやっていたが、今では止めてしまっている。

リトルバスターズのメンバーや、古河ベイカーズのメンバーに加え、
某風紀委員長やおまじないが得意な某宮澤さん等とも知り合い。

容姿は英雄伝説空の軌跡のヨシユアを少々弄った感じです。

くプロローグ 出会いと自己紹介

小さい頃から、基本一人だった。

特別中が良い友人が居るわけでもなく、友人の様な人と遊んでいても、自分との間には厚い壁を感じられた。

中学生になって、ようやく友人と言える関係をもった。

十中八九の学生が面倒くさいと答える学校も、友人に会ったためなら我慢出来たし、正直楽しかった。

余談だが、『類は友を呼ぶ』という言葉を知っているだろうか？
簡潔に言うなれば、似た者同士が集まるという意味だ。

認めたくはないが、友人も俺も変人の類いだったらしく、他に中の良い友達はいなかった。

中学三年の春。

仲の良かった友人とはバラバラの高校に入ってしまった、元々両者の家が遠いこともあって春休みになってからは疎遠となっていた。

そして、知り合いの居ない状況で入った高校。

知っている人間が誰一人居ない事程今の俺に辛い事は無く、友人を作ろうにも俺と同レベルの変人がそうそう居るわけが――

「すみません！遅刻しました！！」

「コラ！！棗、お前何処から入ってくるんだ！！」

居た。

棗と呼ばれた男子生徒は、どうやって来たのか教室の窓から入ってきた。

長すぎではないにしろ、俺と同じくらい伸びた茶髪、真紅の瞳、イケメンと呼んでも差し支えない整った顔立ち。

こんな教室の入り方さえしなければ、女生徒からの支持率は昨今の総理大臣より高くなるだろう。

「棗以外は自己紹介が済んだから、お前はこれから自己紹介しろ。」

棗は特に嫌がる訳でもなく、黒板の前に立つ。

俺ならあそこまですんなりと動けず、短い間だが固まる事必死だろう。

他の生徒も恐らく反応に大差は無いはずだ。

それらの情報を鑑みても、棗は俺と同等かそれ以上の変人と見てもいいだろう。

「えー棗恭介です。趣味は遊ぶ事、好きな雑誌は週刊少年ジャ○プ、好きな遊びは缶けり、トランプ、鬼ごっこetc…好きな食べ物は何唐揚げです！よろしくお願いします！」

「くっ……はーっはっはっはっ……!!」

前言撤回。

俺はあまりの可笑しさに、静寂に包まれていた教室で笑いまくっていた。

でも、それも仕方ない。

高校生が真顔で「好きな食べ物は唐揚げ」だぞ？笑うわ！

「すいません！寝坊しました！」

「またか！？たくつ、お前はスポーツ特待生の…岡崎か。お前も自己紹介していないんだ。さっさと挨拶して、HR終わらせるぞ。」

岡崎と呼ばれた男子生徒は、またしても俺と同じくらい伸びた青い髪、薄い青色の瞳、こちらも整った顔立ちをしている。

「岡崎朋也です。趣味はバスケット、好きな雑誌はマ○ジン、好きな食べ物唐揚げです。よろしくお願いします。」

流石に岡崎の自己紹介では笑わなかった。
ただ、好きな食べ物が唐揚げで統一された二人が同時に遅刻してくるのはなかなか面白い偶然だった。

「二人の席は……水村の前と隣だ。」

水村、つまり俺の席は窓際の一番後ろの席、いわば特等席だ。

二人が席に座ると、俺は勇気を振り絞って二人に話しかける。

今後も、楽しく過ごせる学生生活を送れると信じて。

「よう、岡崎と棗…だっけ。俺は水村新って言っんだ。よろしくな！趣味は缶けり、好きな雑誌はマガ○ン、好きな食べ物は唐揚げだ！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3141y/>

CLANNAD × Littlebusters バカな奴らと仲良くする為の21の方法

2011年11月17日15時11分発行